

都市・自然環境を活かした公園整備方針（案）

— 丹波市丹（まごころ）の里創生総合戦略の実現に向けて —

1	整備方針の趣旨.....	1
	（1）公園緑地の計画的整備	
	（2）社会情勢の変化と公園整備方針の役割	
	（3）整備方針の視点	
2	丹波市の公園機能の現状.....	2
3	第2期丹（まごころ）の里創生総合戦略上の位置づけ.....	2
4	憩いや賑わい創出のために活用すべき都市・自然環境.....	4
	（1）地域資源	
	（2）交通の結節点	
	（3）スポーツ施設の公園機能の強化	
5	都市・自然環境を活かして重点的に整備する公園.....	7
	（1）水分れ公園（地域資源）	
	（2）今出川親水公園（地域資源）	
	（3）丹波竜の里公園（地域資源）	
	（4）道の駅「丹波おばあちゃんの里」（交通の結節点）	
	（5）青垣児童公園（交通の結節点）	
	（6）氷上さくら公園（交通の結節点）	
	（7）スポーツピアいちじま（スポーツ施設の公園機能の強化）	
	（8）（仮称）山南中央公園（スポーツ施設の公園機能の強化）	
	（9）春日総合運動公園（スポーツ施設の公園機能の強化）	
	（10）青垣総合運動公園（スポーツ施設の公園機能の強化）	
6	未来都市構造のイメージ図と重点的に整備する公園.....	17
7	年次計画（まとめ再掲）.....	17
8	丹波市公園一覧（策定時点）.....	18
9	終わりに.....	20

丹波市

令和2年〇月

1 整備方針の趣旨

(1) 公園緑地の計画的整備

公園緑地は、子どもから高齢者まで幅広い年齢層のレクリエーション活動・健康運動・文化活動の場であるとともに、災害時の緊急避難場所など多様な役割を担っており、市民生活を支える都市機能として必要不可欠なものである。

公園緑地の保全や整備は、都市緑地法において、市町村が策定する緑の基本計画に基づき、都市計画マスタープランとの整合を図りながら、都市の緑地を保全し都市公園を整備することで、良好な都市環境の形成を図ることとされている。

また、都市公園の設置や管理の基準などを定める都市公園法に基づき、運用指針（平成 29 年国土交通省都市局）を定めており、その中で、良好な都市環境を形成するため、長期的な観点に立って都市公園を計画的に整備し適切に管理していくことや、都市公園の配置や規模、整備基準などの原則的な考え方が示されているところである。

そのため、公園機能の充実を図るためには、都市環境の健全な発展に向け、全市的な視点から計画を策定し、総合的・長期的に公園施設を整備していくことが重要である。

都市緑地法（昭和 47 年法律第 72 号）

第 4 条 市町村は、都市における緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する措置で主として都市計画区域内において講じられるものを総合的かつ計画的に実施するため、当該市町村の緑地の保全及び緑化の推進に関する基本計画（以下「基本計画」という。）を定めることができる。

(2) 社会情勢の変化と公園整備方針の役割

丹波市を取り巻く社会情勢や都市環境は、変化が続いている。人口は、平成 7 年以降、減少が続いている。特に、大学・就職期の 10 代後半から 20 代前半の人口流出の多さとその後の人口流入の少なさによって、若い世代の人口が減少しており、それが出生数の急速な減少に拍車をかけている。

また、新たなまちづくりの核となる県立丹波医療センターや市健康センターミルネなどが完成したり、令和 8 年度完成予定の国道 429 号の榎峠バイパス化が事業着手されたりするなど、まちづくりの好循環をもたらすと期待される変化もある。

これらの社会情勢や都市環境の変化を背景に、人口減少に対する地域活性化策として、また、観光・交流の賑わい拠点づくりとして、公園機能の充実が求められている。一方、丹波市の都市公園は、兵庫県下の自治体と比較した場合、数は少なく、面積も狭い状況である。また、都市公園を含めた市内の公園は、市内各所に分散配置しているものの、遊具の老朽化が見られ使用を制限しているものや、更新されず撤去されているものなど、整備当初の魅力を失ったものが多く存在している。

本来、公園緑地の保全・整備は、先に述べたように、都市緑地法に基づく緑の基本計画の策定によって進めるべきものであるが、丹波市の公園の現状や社会情勢の変化を勘案すると、丹波市の都市・自然環境を活かし、市民が市内外に誇れるランドマークとして公園機能を充実させることが急務である。そのため、特に重点的に整備すべき公園機能について、整備方針を定めるものである。

（３）整備方針の視点

先に述べたように公園緑地には、様々な役割があるが、整備方針は丹波市の都市・自然環境を活かした公園機能の充実が目的であるため、①丹波市ならではの地域資源、②交通の結節点、③スポーツ施設の公園機能の強化、の３点に焦点を当て、公園機能を整備する。

また、公園機能の整備にあたっては、ランドマークとして市民権を得ている公園機能を充実させることで、さらなる憩いや賑わいの創出につながると考えることから、原則として既設の公園機能を対象とする。

２ 丹波市の公園機能の現状

丹波市立の公園は、45箇所となる（８ 丹波市公園一覧の通り）。また、その他には、条例上は公園となっていないが、「春日総合運動公園」や道の駅「丹波おばあちゃんの里」のように、公園機能を有する市有施設もある。

さらに、丹波年輪の里、丹波の森公苑や丹波少年自然の家などの他の公共団体が所有する施設もある。

一方、都市公園（都市公園法に基づく公園緑地又は都市計画決定された公園緑地）について兵庫県下の自治体を比較した場合、丹波市の整備状況は、数は少なく、面積も小さい。

また、都市公園に位置付けられていない、市が条例で設置している公園は、市内各所に分散配置しているものの、遊具の老朽化が見られ使用を制限しているものや、更新されず撤去されるものなど、整備当初の魅力を失ったものが多く存在している。

３ 第２期丹（まごころ）の里創生総合戦略上の位置づけ

令和元年度に策定した第２期丹（まごころ）の里創生総合戦略は、分野横断で総合的に取り組むべき人口減少対策をまとめたものである。

創生総合戦略では、丹波市の人口減少対策として、公園機能の整備活用を２つの基本目標の取組に掲げている。

１つ目は、子どもの成長過程で丹波市の魅力が実感できる体験が重要であり、そのためには、子どもが安心して遊べる環境づくりに取り組むこととしている。（基本目標１・施策１－２・手段５）。

2つ目は、交流や賑わいの結節点を整備し、市内に散らばる地域資源を線で結ぶことで、ストーリーのある情報発信やイベントを充実させることとしている（基本目標3・施策3－2・手段1・2）。

公園に関する創生総合戦略の基本目標等

基本目標 1	希望が叶い、みんなで子育てを応援するまちをつくる
施策 1－2	みんなで子育てを応援するまちをつくる
手段 5	子どもにとって、本市で暮らす豊かさ（自然体験・遊び、心地の良い場）が実感できる場（まちのサードプレイス）を充実させる。 KEY：多世代交流公園、自然体験施設、地域資源を活かしたレストラン・カフェ

基本目標 3	地域の魅力や人のつながりを活かして、移住・定住につなげる
施策 3－2	地域資源の魅力を活かす
手段 1	交通や賑わいの結節点として、道の駅を充実させるとともに、観光まちづくりを推進する。 KEY：道の駅「丹波おばあちゃんの里」、市DMO
手段 2	本市にしかない地域資源を分かりやすく展示し、拠点施設を含むエリア全体での体験活動を通じて、本市の魅力を伝える。 KEY：氷上回廊水分れフィールドミュージアム、丹波竜化石工房、植野記念美術館

4 憩いや賑わい創出のために活用すべき都市・自然環境

(1) 地域資源

ア 本州一低い谷中分水界“水分れ”

“水分れ”は、本州で最も低い標高 95.45m の中央分水界であり、“水分れ”から日本海に注ぐ由良川と瀬戸内海側へ流れる加古川をつなぐ低地帯は、“氷上回廊”と呼ばれている。

“水分れ”や“氷上回廊”は、丹波市の風土に多様性を、地域文化に寛容性を育んできた。

この丹波市固有の地域資源を活かすため、水分れ資料館のリニューアルに取り組んでおり、水分れ資料館の一带には、人工滝や高谷川の親水エリアによる水分れをモチーフに設置された水分れ公園があるなど、市民の憩いの場となっている。



水分れ資料館と水分れ

イ 清流が育む源流の里

丹波市は、瀬戸内海に流れる加古川と日本海に流れる由良川両方の川上流域に位置している。豊かな自然の中を流れる清らかな水は、里山や川やそこにすむ生き物を育み、多自然地域としての魅力を象徴している。

加古川の源流は丹波市青垣地域であり、青垣地域を中心とした源流域には、加古川の支流を含め、多くの清らかな川がある。また、由良川の支流である竹田川の源流は、丹波市春日地域である。

これらの源流の里で守られてきた本物の自然を体験する機会は、丹波市の魅力であるブランド力の高い農産物や、自然を活かしたアクティビティなどにつながっていくことが期待され、大都市近郊の強みと、田園空間としての魅力を活かすことで、都市住民の田園回帰志向の受け皿となれる。



加古川の源流域の清らかな川

ウ 農村風景と共存する恐竜化石

平成 18 年、山南地域の前期白亜紀の地層（篠山層群）から、丹波竜（タンバティタニス・アミキティアエ）が発見された。世界の恐竜化石産地の多くは、人里離れた山奥や砂漠の中にあるが、篠山層群は、寺社の境内、公園の中や河川敷の農業井堰などに露頭している。

篠山層群の上に農村風景が広がり、人々がそれを利用しながら暮らす「農村風景と恐竜が共存」する希少な地域として、46 億年にわたる地球の息づかいを感じられる。

また、急流の溪谷にできた奇岩や滝がある川代溪谷は、桜花の名所でもあり、川水の激しい流れと、川岸の桜花が素晴らしい景観を醸し出している。



丹波竜の里公園の恐竜モニュメント

（２）交通の結節点

瀬戸内海に流れる加古川と日本海に流れる由良川の流域にまたがる“氷上回廊”は、古くから人や物の行き交う交通の要衝として機能してきた。この地理的好条件によって、現代においても丹波市は、交通網の結節点があり、行き交いや賑わいを創出している。

ア 舞鶴若狭自動車道と北近畿豊岡自動車道のジャンクション（春日 IC）

両自動車道のジャンクションと春日 IC に隣接する重点道の駅「丹波おばあちゃんの里」は、平成 30 年度レジ通過客数 36.6 万人の市内有数の集客施設である。当初、利用客数 23 万人を想定して設置された道の駅機能では集客を吸収できないため、リニューアルに取り組んでいる。



上空からみた道の駅と春日 IC

イ 国道 429 号の榎峠バイパス化（青垣 IC）

丹波市と福知山市を結ぶ国道 429 号の榎峠バイパス化は、令和 8 年度に完成予定であり、これに向け、丹波市では、市道小和田平野線の道路拡幅工事を予定している。これらにより、福知山市へのアクセスが強化され、丹波市北西部と福知山市との交通量が増加することが見込まれる。

ウ 氷上 IC

北近畿豊岡自動車道の氷上 IC は、市まちづくりビジョンが示す中心部内に位置し、稲継交差点を中心とする沿道市街地周辺には、まちの賑わいと活力を創出する商業・業務サービス施設等が一定程度集積しており、今後も商業業務ゾーンとして一層の賑わいの創出が期待される。

（３）スポーツ施設の公園機能の強化

都市環境や自然環境における資源そのものではないが、スポーツ施設の機能強化は、公園機能の充実を図るうえで、重要な手段である。公園には、健康・レクリエーション・子育て・防災など多面的な機能があるが、これらの機能と、スポーツ施設を複合化させることで、公園の近隣住民の憩いの場としてだけでなく、市内外からの利用獲得が期待できる。

特に、創生総合戦略による人口減少対策の観点では、市内外から子どもや子育て世代の利用を促進することが望まれるところであり、スポーツ施設の公園機能の強化に取り組む。

5 都市・自然環境を活かして重点的に整備する公園

(1) 水分れ公園（地域資源）

所在地 : 丹波市氷上町石生 3518 番地外

担当課 : 産業経済部観光課

基本的方向：水分れ公園は、人口滝や高谷川の親水エリアがあり、子どもの遊びと市民の憩いの場である。水分れ公園付近には、水分れ資料館をリニューアルし、令和3年3月には氷上回廊水分れフィールドミュージアムがオープンする。また、ヒカゲツツジのトンネルが楽しめる向山連山の縦走登山など、里山の魅力溢れる体験ができる。公園内のこどもひろばを全面的にリニューアルし、発達段階に応じた複合遊具を設置することで、年間利用者数 30,000 人を目標とする氷上回廊水分れフィールドミュージアムとの相乗効果を目指す。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状		整備
気持ちの良いトイレ	○		
利用しやすい駐車場	○		
発達段階に応じた遊具	×	→	○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	×		
特色（人工滝）	○		

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
	●	→	

(2) 今出川親水公園（地域資源）

所在地 : 丹波市青垣町遠阪 1625 番地

担当課 : 産業経済部観光課

基本的方向 : 丹波市は、各流域に豊かな水をもたらす加古川や由良川の上流域に位置する。加古川の源流域にある今出川親水公園の親水エリアは、安全に水に親しむことができるため、子どもの遊び場として最適であり、夏場の利用が多い。快適に滞在するために必要なトイレ、子どもの遊ぶ姿を見守りながら滞在・飲食できるスペースを整備することで、自然の魅力や丹波市で暮らす豊かさが実感できる場として、一層の利用促進を図る。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状	整備
気持ちの良いトイレ	×	○
利用しやすい駐車場	○	
発達段階に応じた遊具	×	
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	×	○
特色（親水エリア）	○	

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
	●	→	

(3) 丹波竜の里公園（地域資源）

所在地 : 丹波市山南町上滝 1916 番地

担当課 : 産業経済部恐竜課

基本的方向 : 丹波竜化石の発見場所にある公園であり、子どもの興味関心を惹く恐竜をテーマに、恐竜モニュメントや恐竜を模した遊具などが整備されている。丹波地域恐竜化石フィールドミュージアムやサイクリングロードとしてリニューアルされる川代恐竜街道（県道篠山山南線）の観光スポットとしての利用も期待される。（仮称）丹波竜ミュージアム構想の実現に向け、丹波竜化石工房のリニューアルを検討しており、これに併せて子どもの遊び機能の充実を図る。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状		整備
気持ちの良いトイレ	○		
利用しやすい駐車場	○		
発達段階に応じた遊具	×	→	○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	×		○
特色（恐竜モニュメント）	○		

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
			● →

(4) 道の駅「丹波おばあちゃんの里」(交通の結節点)

所在地 : 丹波市春日町七日市 710

担当課 : 産業経済部観光課

基本的方向 : 道の駅「丹波おばあちゃんの里」は、平成 30 年度レジ通過客数 36.6 万人の市内有数の集客施設であり、令和元年度には、地域活性化の拠点として重点的に支援すべき道の駅として、重点道の駅に選定された。現在、令和 4 年度のリニューアルオープンに向け、整備の検討を進めており、その機会に合わせ、全面的に道の駅の機能強化を図る。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状		整備
気持ちの良いトイレ	○	→	○
利用しやすい駐車場	○		○
発達段階に応じた遊具	×		○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	○		○
特色 (特産物販売・レストラン)	○		○

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
	●————→		

(5) 青垣児童公園（交通の結節点）

所在地 : 丹波市青垣町佐治 100 番地 1

担当課 : まちづくり部施設管理課

基本的方向 : 青垣住民センターと同一敷地内にある小さな公園であるが、市まちづくりビジョンにおける生活関連サービス集積ゾーンに位置する。令和 8 年度予定の国道 429 号の榎峠バイパス化及び市道小和田平野線の道路拡幅によって交通利便性が向上することで、福知山市との行き交いが増加することが見込まれ、別館跡地を利用した公園敷地の拡充を含め、公園機能の強化を図る。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状	整備
気持ちの良いトイレ	○	
利用しやすい駐車場	○	
発達段階に応じた遊具	×	○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	○	
特色 ()	×	

→

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
●	→		

(6) 氷上さくら公園（交通の結節点）

所在地 : 丹波市氷上町犬岡 467 番地 1

担当課 : 建設部河川整備課

基本的方向 : 公園内には、丹波の旬の新鮮野菜・果樹・花卉が四季を通じて揃う「ひかみ四季菜館」があり、市内外から人が集う賑わいの場として公園利用者が多い。また、交通利便性が良い立地や見晴らしの良い展望台によって、市民の憩いの場・ランドマークとして市民権を得ており、展望台等の公園機能を維持しつつ、発達段階に応じた大型遊具の整備を図る。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状		整備
気持ちの良いトイレ	△	→	○
利用しやすい駐車場	○		
発達段階に応じた遊具	×		○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	×		○
特色（展望台・特産物販売）	△		○

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
●	→		

(7) スポーツピアいちじま（スポーツ施設の公園機能の強化）

所在地 : 丹波市市島町中竹田 6121 番地 3

担当課 : まちづくり部施設管理課

基本的方向 : スポーツ施設敷地内にある公園機能で、地域住民はもちろん、スポーツ施設との併用利用や、隣接の幼保連携型認定こども園の園児の園外活動など、多様な利用がなされている。スポーツピアいちじま内のつかさグループいちじま球場は、令和3年度の電光掲示板等のリニューアルに向け、準備を進めている。これに合わせ、現在の公園機能をベースに、発達段階に応じた大型遊具や、子ども遊ぶ姿を見守りながら滞在・飲食できるスペースを整備する。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状		整備
気持ちの良いトイレ	○		
利用しやすい駐車場	○		
発達段階に応じた遊具	×	→	○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	×		○
特色 ()	×		

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
	●————→		

(8) (仮称) 山南中央公園 (スポーツ施設の公園機能の強化)

所在地 : 統合が見込まれる市立和田中学校用地

担当課 : まちづくり部施設管理課

基本的方向 : 山南地域の市立中学校統合により、現山南中央公園の機能を持つ代替施設を、現市立和田中学校用地に整備することとしている。現山南中央公園には、子どもの遊び場スペースがあることから、発達段階に応じた大型遊具や、子どもの遊ぶ姿を見守りながら滞在・飲食できるスペースを整備する。これにより、地域住民はもちろん、スポーツ施設との併用利用や、近隣の幼保連携型認定こども園の園児の園外活動など、多様な利用が期待できる。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状	整備
気持ちの良いトイレ	未定	○
利用しやすい駐車場	未定	○
発達段階に応じた遊具	未定	○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	未定	○
特色 ()	×	

→

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
	●		→

(9) 春日総合運動公園（スポーツ施設の公園機能の強化）

所在地 : 丹波市春日町下三井庄 735 番地

担当課 : まちづくり部施設管理課

基本的方向 : スポーツ施設敷地内にある公園機能で、地域住民はもちろん、スポーツ施設との併用利用など、多様な利用がなされている。また、敷地内には、屋外プールや親水エリアもある。現時点で、リニューアル等の予定はないが、ネーミングライツ導入施設でもあることから、スポーツ施設の公園機能の強化について、検討する。

[現在の様子]



[公園機能]

項目	現状	整備
気持ちの良いトイレ	○	
利用しやすい駐車場	○	
発達段階に応じた遊具	×	○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	×	○
特色 ()	×	

→

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
(必要に応じて検討)			

(10) 青垣総合運動公園（スポーツ施設の公園機能の強化）

所在地 : 丹波市青垣町田井縄 782 番地

担当課 : まちづくり部施設管理課

基本的方向 : スポーツ施設敷地内にある公園機能で、青垣 IC にも近く、地域住民はもちろん、スポーツ施設との併用利用など、多様な利用がなされている。現在は、子ども向け遊具は設置されていないが、市内外から多くの利用があることを考慮し、公園機能の強化を図るため、令和 2 年度当初予算において遊具設置に向けた予算を措置している。

[現在の様子]



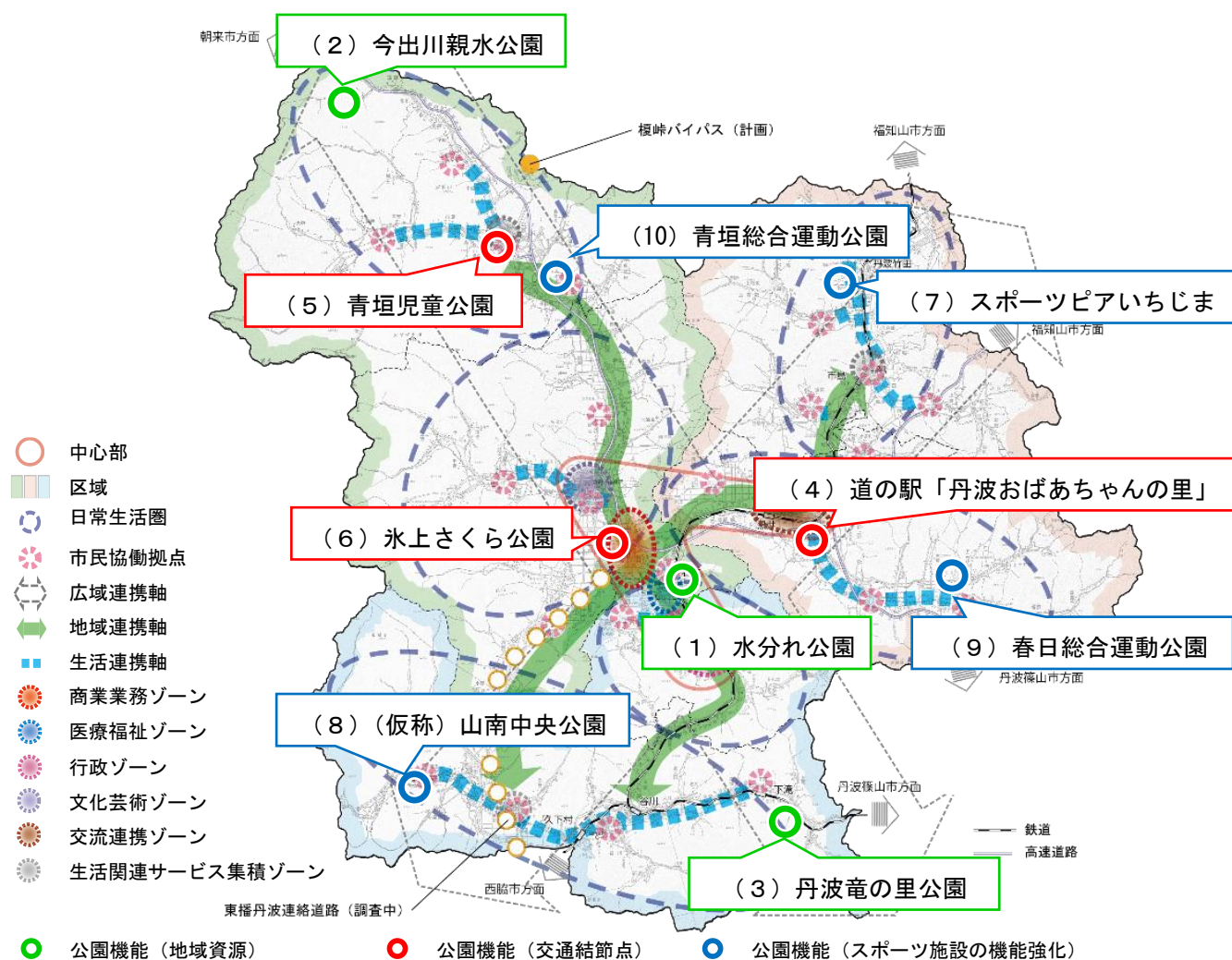
[公園機能]

項目	現状	整備
気持ちの良いトイレ	○	
利用しやすい駐車場	○	
発達段階に応じた遊具	×	○
ゆっくり過ごせる日陰の滞在・飲食スペース	×	
特色 ()	×	

[年次計画]

R2	R3	R4	R5
●→			

6 未来都市構造のイメージ図と重点的に整備する公園



7 年次計画（まとめ再掲）

	R2	R3	R4	R5
（1）水分れ公園		●→	→	
（2）今出川親水公園		●→	→	
（3）丹波竜の里公園				●→
（4）道の駅「丹波おばあちゃんの里」		●→	→	
（5）青垣児童公園	●→	→	→	
（6）氷上さくら公園	●→	→	→	
（7）スポーツピアいちじま		●→	→	
（8）（仮称）山南中央公園		●→	→	→
（9）春日総合運動公園	（必要に応じて検討）			
（10）青垣総合運動公園	●→	→		

8 丹波市公園一覧（策定時点）

丹波市立公園条例		
1	鐘ヶ坂公園	柏原町上小倉 1183 番地
2	やぐら公園	柏原町柏原 112 番地
3	田ステ女公園	柏原町柏原 3519 番地
4	柏原町櫨公園	柏原町柏原 1171 番地 2
5	氷上工業団地第 2 公園	氷上町石生 2039 番地 14
6	大師野公園	青垣町小倉 66 番地 15
7	長谷大池展望台	春日町国領 2307 番地 2
8	山南町緑化公園	山南町野坂 176 番地 3
9	新道貝農村公園	市島町中竹田 6427 番地 1
10	三ッ塚児童公園	市島町上垣 153 番地
11	竹田川桜つつみ右岸公園	市島町上田 971 番地
12	竹田川桜つつみ左岸公園	市島町上垣 1096 番地 5
13	石田太鼓やぐら公園	柏原町柏原 142 番地
14	大手通り公園	柏原町柏原 516 番地 2
15	ハートタウン石生公園	氷上町石生 2703 番地

丹波市都市計画法に基づく公園の設置及び管理に関する条例		
16	鳥居前公園	氷上町横田 845 番地 35
17	西小牛川公園	柏原町柏原 2037 番地 28
18	横枕公園	柏原町田路 195 番地 28
19	下角公園	柏原町柏原 2997 番地 26
20	棚田公園	柏原町下小倉 284 番地 9
21	西小牛川第 2 公園	柏原町柏原 2025 番地 18
22	池之内公園	柏原町柏原 2055 番地 5
23	古河公園	春日町古河 619 番地 28
24	八幡山公園	春日町朝日 1255 番地 27

丹波市立地域公園条例		
25	丹波市立石生第 1 公園	氷上町石生 1586 番地 1
26	丹波市立石生第 2 公園	氷上町石生 1444 番地
27	丹波市立西中東公園	氷上町西中 68 番地 1
28	丹波市立西中西公園	氷上町西中 378 番地 11
29	丹波市立西中南公園	氷上町西中 454 番地 3
30	丹波市立西中北東公園	氷上町西中 615 番地 58
31	丹波市立西中北西公園	氷上町成松 70 番地 1

丹波市立復興砂防公園条例		
32	丹波市立復興砂防公園	市島町徳尾 258 番地 5
丹波市立丹波竜の里公園条例		
33	丹波市立丹波竜の里公園	山南町上滝 1916 番地
丹波市立青垣総合運動公園条例		
34	丹波市立青垣総合運動公園	青垣町田井縄 782 番地
丹波市立三ッ塚史跡公園条例		
35	丹波市立三ッ塚史跡公園	市島町上田 800 番地
丹波市立青垣児童公園条例		
36	丹波市立青垣児童公園	青垣町佐治 100 番地 1
丹波市立薬草薬樹公園条例		
37	丹波市立薬草薬樹公園	山南町和田 338 番地 1
丹波市立横峰山頂公園条例		
38	丹波市立横峰山頂公園	市島町岩戸 1068 番地 1
丹波市立水分れ公園条例		
39	丹波市立水分れ公園	氷上町石生 3518 番地外
丹波市立大杉ダム自然公園条例		
40	丹波市立大杉ダム自然公園	市島町徳尾 2162 番地 2
丹波市立今出川親水公園条例		
41	丹波市立今出川親水公園	青垣町遠阪 1625 番地
丹波市立氷上さくら公園条例		
42	丹波市立氷上さくら公園	氷上町犬岡 467 番地 1
丹波市立三宝ダム公園条例		
43	丹波市立三宝ダム公園	春日町上三井庄 1727 番地 3 外
丹波市立川代公園及び井原であい公園条例		
44	丹波市立川代公園	山南町上滝 1502 番地 1
45	丹波市立井原であい公園	山南町井原 1031 番地 1

丹波市立スポーツ施設条例		
1	丹波市立氷上総合グラウンド	氷上町上新庄字西川 3 番地
2	丹波市立大師の杜ホール	氷上町絹山 346 番地
3	丹波市立春日総合運動公園	春日町下三井庄 735 番地
4	丹波市立春日体育センター	春日町黒井 496 番地 2
5	丹波市立山南 B&G 海洋センター（体育館）	山南町野坂 176 番地 2
6	丹波市立山南武道場	山南町野坂 176 番地 2
7	丹波市立山南農業者等体育施設	山南町谷川 1348 番地
8	丹波市立山南中央公園	山南町谷川 1348 番地
9	丹波市立市島市民グラウンド	市島町上垣 902 番地 1
10	丹波市立三ッ塚テニスコート	市島町上田 1132 番地
11	丹波市立三ッ塚ふれあいセンター愛育館	市島町上田 1139 番地
12	丹波市立スポーツピアいちじま	市島町中竹田 6121 番地 3

9 終わりに

整備方針では、都市・自然環境を活かす観点や、機能複合化による市民の憩いや賑わいの創出の観点から、市内各所にある公園を整理した。

重点的に整備する公園として 10 箇所を挙げたが、それ以外にも、川代公園のほか、ハートタウン公園や三ッ塚児童公園など、子どもに人気で、子育て世代が多く利用する身近な公園があり、そのような公園は、引き続き多くの利用に適うよう公園機能の維持・拡充を図っていく必要がある。この点は、冒頭に述べたように、都市計画マスタープランに基づき、全市的な視点で総合的・長期的に公園施設を整備していくなかで検討していくこととなる。

子どもの遊び場という点では、西脇市のミライエのような子どもや子育て世代を中心とした複合施設や、福井県おおい町のこども家族館のような大型児童館は、季節や天候を気にせず、思い切り遊びたい・遊ばせたいという子どもや子育て世代のニーズに合致しており、内外から多くの方に利用されている。そのような大規模なものではなくても、屋内で思い切り遊べる場の確保は、中長期的な視点で検討すべき課題である。

また、整備方針では、トイレや遊具など、公園に整備すべき基本的な機能についてのみ言及しているが、災害時に避難場所として公園機能を活用することからすると、公園は、共通して「誰もが安全に自由に利用できる」ことが重要である。そのため、公園の整備を進める際には、高齢者・障がいのある人が利用できるユニバーサルデザインをより積極的に取り入れていく必要がある。